

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: コレラ 1 例 (感染地域: 中国/フィリピン)、細菌性赤痢 5 例 (感染地域: 愛知県 1 例、兵庫県 1 例、インド 2 例、中国/タイ 1 例)、腸チフス 1 例 (感染地域: インド)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 67 例 (うち有症者 49 例、HUS 1 例) [感染地域: すべて国内 国内の多い感染地: 大阪府 (15 例)、愛知県 (5 例)、熊本県 (5 例) 年齢群: 10 歳未満 (30 例)、10 代 (14 例)、20 代 (7 例)、30 代 (4 例)、40 代 (4 例)、50 代 (4 例)、60 代 (1 例)、70 歳以上 (3 例) 血清型・毒素型: O157 VT2 (23 例)、O157 VT1・VT2 (21 例)、O26 VT1 (12 例)、O157 VT1 (3 例)、O111 VT1・VT2 (2 例)、O91 VT1 (1 例)、O103 VT1 (1 例)、その他/不明 (4 例)]
- 4 類感染症: A 型肝炎 4 例 (感染地域: 北海道 1 例、宮城県 1 例、東京都 1 例、国内 (都道府県不明) 1 例)、エキノコックス症 1 例 (多包条虫、感染地域: 北海道)、オウム病 1 例 (感染地域: 岩手県、感染源: インコ)、つつが虫病 15 例 (感染地域: 秋田県 5 例、青森県 3 例、福島県 2 例、新潟県 2 例、山形県 1 例、富山県 1 例、長野県 1 例)、デング熱 1 例 (感染地域: インドネシア)、日本紅斑熱 1 例 (感染地域: 鹿児島県)、レジオネラ症 7 例 (肺炎型 6 例、無症状病原体保有者 1 例) [年齢群: 40 代 1 例、60 代 3 例、70 代 2 例、80 代 1 例 感染地域: 青森県 1 例、福島県 1 例、長野県 1 例、岡山県 1 例、大分県 1 例、国内 (都道府県不明) 2 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 5 例 (腸管 4 例、腸管外 1 例) [感染地域: すべて国内 感染経路: 性的接触 2 例 (異性間 1 例、異性間・同性間不明 1 例)、猫 1 例、不明 2 例]、ウイルス性肝炎 2 例 [B 型 1 例 感染経路: 性的接触 (異性間) C 型 1 例 感染経路: 不明]、急性脳炎 3 例 [単純ヘルペスウイルス 1 例 (30 代)、病原体不明 2 例 (0 歳、2 歳)]、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 例 (40 代 2 例、50 代 1 例、血清群: すべて A 群、うち 1 例死亡)、後天性免疫不全症候群 23 例 (無症候 15 例、AIDS 8 例) [感染経路: 性的接触 19 例 (異性間 5 例、同性間 14 例)、不明 4 例 感染地域: 国内 19 例、タイ 2 例、ブラジル 1 例、ウガンダ 1 例]、ジアルジア症 2 例 (感染地域: 国内 1 例、カンボジア 1 例)、髄膜炎菌性髄膜炎 1 例 (感染地域: 国内)、梅毒 8 例 (早期顕症 I 期 2 例、早期顕症 II 期 2 例、晩期顕症 1 例、無症候 3 例)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期 (前週、当該週、後週) と比較してかなり多い状態が継続している。都道府県別では沖縄県 (23.1)、青森県 (4.1)、岩手県 (2.0)、北海道 (1.4) が多い。  
 小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 83 例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 77% を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第 19 週以降、増加が続いており、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が継続している。都道府県別では奈良県 (2.3)、岐阜県 (2.1)、鹿児島県 (2.1)、埼玉県 (2.1)、島根県 (1.9) が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では富山県 (4.1)、山形県 (4.1)、北海道 (3.4)、長野県 (3.4) が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は 21 週以降、減少が続いている。都道府県別では大分県 (8.1)、福井県 (7.6)、宮崎県 (7.4) が多い。水痘の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では長野県 (4.3)、新潟県 (3.6)、福島県 (3.4)、北海道 (3.1) が多い。手足口病の定点当たり報告数は第 19 週以降、増加が続いている。都道府県別では福井県 (6.4)、岐阜県 (5.3)、愛知県 (4.4)、徳島県 (4.4) が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は 2 週連続で増加した。都道府県別では鳥取県 (1.6)、静岡県 (1.5)、埼玉県 (1.5)、島根県 (1.4) が多い。百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では栃木県 (0.17)、香川県 (0.09)、秋田県 (0.06) が多い。風しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では大分県 (0.06)、山形県 (0.03)、滋賀県 (0.03)、高知県 (0.03) が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第 10 週以降、増加が続いており、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では神奈川県 (7.2)、千葉県 (6.0)、埼玉県 (5.8)、東京都 (5.6)、愛媛県 (5.4) が多い。麻しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では千葉県 (0.04)、栃木県 (0.04)、秋田県 (0.03)、茨城県 (0.03) が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では鹿児島県 (5.1)、新潟県 (3.9)、鳥取県 (3.8)、長野県 (3.6) が多い。  
 基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は横ばいであったが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では青森県 (3.2)、岐阜県 (2.0)、埼玉県 (1.7)、群馬県 (1.4) が多い。成人麻しんは 2 例の報告があり、いずれも茨城県からの報告であった。

	小児科定点												眼科定点		基幹定点										
	1)	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	2)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	3)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん	
(定点当たり)																									
愛媛県	.5	.0	1.7	2.2	4.4	2.9	.7	.4	.9			5.4		1.5	.1	4.6		.2		.3					
香川県	.3		1.7	1.3	3.2	1.5	3.8	.4	.9	.1		1.6		2.2		1.0									
徳島県	.4		.7	.8	2.0	2.3	4.4	.0	1.0			2.6		2.5		.8									
高知県			.6	1.3	1.7	2.2	.6	.3	.6	.0	.0	2.7		1.0		2.3						.4			
全国	.7	.0	1.4	2.2	3.7	2.3	1.2	.7	.8	.0	.0	3.6	.0	1.7	.0	1.2	.0	.1	.5	.0	.1	.5	.0	.0	.0
北海道	1.4	.1	1.4	3.4	2.2	3.1	.2	.3	.4			.9		2.4		.5									
東北	1.2	.1	.6	2.3	3.5	2.8	.4	.7	.7	.0	.0	2.8	.0	1.8	.0	1.0	.0	.0	.0	.0	.0	1.0			
関東	.1	.0	1.6	2.4	3.6	2.3	.6	1.0	.8	.0	.0	5.5	.0	1.6	.0	1.8	.0	.0	.0	.0	.0	.6	.0	.0	.0
甲信越北陸	.1	.0	1.2	2.8	4.0	2.9	1.5	.4	.6	.0	.0	3.4		2.7	.0	1.0	.1	.1	.1	.1	.5				
東海	.1		1.5	2.3	3.3	2.4	4.2	1.2	.8	.0	.0	2.8	.0	1.5	.1	1.0	.1	.1	.1	.1	.5				
近畿	.1	.0	1.6	1.8	3.9	2.0	1.0	.5	.7	.0	.0	3.2	.0	1.4	.0	.6	.0	.1	.0	.1	.3				
中国四国	.3	.0	1.1	1.6	3.8	1.9	1.2	.5	.8	.0	.0	2.8	.0	1.8	.0	1.5	.0	.2	.0	.2	.3				
九州沖縄	2.6	.1	1.2	1.9	4.7	2.0	.4	.5	1.1	.0	.0	2.8		1.9	.1	1.7	.0	.2	.0	.2	.3	.0			

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。 (6月29日集計) 愛媛県基幹感染症情報センター

全国 全数把握感染症 第25週 (2006.6.19 ~ 6.25)

疾病名	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																			
	(2) コレラ	(3) 細菌性赤痢	(5) 腸チフス	(6) パラチフス		(1) 腸管出血性大腸菌感染症	(1) E型肝炎	(2) ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(8) Q熱	(11) コクシジオイデス症	(15) つつが虫病	(16) デング熱	(18) 日本紅斑熱	(19) 日本脳炎	(22) ブルセラ症	(23) 発しんチフス	(24) ボツリヌス症	(25) マラリア	(26) 野兔病	(27) ライム病	(29) レジオネラ症	(30) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) 黄色ブドウ球菌感染症	(14) パンコムインシン耐性腸球菌感染症	
全 国	1	5	1		67			4	1	1		15	1	1									7		5	2	3		3	23	2	1		8						
第25週報告数	四 国	愛 媛 県																																						
		香 川 県																																						
		徳 島 県																																						
		高 知 県																																						
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道							1	1																				1										
		東 北 関 東	1	1	1		6		1		1		11										2			1		1		1	5	1			1					
		甲信越北陸					2						4											1						1										
		東 海 近 畿		1			8							1									2			3	1			1	7									
		中国四国		3			19		1															1		3	1			1	8	1					4			
		九州沖縄					3																	1			1	1			2									
週 推 移	全 国	25週	1	5	1		67		4	1	1		15	1	1								7		5	2	3		3	23	2	1		8						
		24週		4			72		4		4		21	1	2							1	6		10	4			1	16	1			13				1		
		23週	2	6	1		69		2			1	15		2					2			6		8	1		1	2	25	1			6	1					
		22週	1	7	3	1	76	1	7				19	2	2		1		1		1		8		6	4	1	2	2	20	1			5	1					
2006年累積数	全 国	全 国	21	204	42	14	742	36	211	12	15		1	145	19	10		2	1	24		1	177		313	111	91	7	79	63	572	41	8	285	35		37			
		愛 媛 県		3			6		3				1		2									1		1	1	1		4				2						
		香 川 県					2		1		2													1		2				1				4						
		徳 島 県					14																		3									3	1					
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道					12	9	11	11				1									5		7	4	2		5	6	14	1		6	1					
		東 北 関 東		5			72	2	8		2		81							1			7		13	8	4		5	3	19		1	17			3			
		甲信越北陸	14	84	27	11	171	11	42		5	1	5	8		1				14			53		137	29	35	6	26	22	308	18	4	77	12		13			
		東 海 近 畿	1	19	4	2	72	3	29	1	2		4	5						1		1	30		42	16	9		6	11	63	2	1	32	1		6			
		中国四国	1	8			151	1	56		3		2	3	1					1	5		41		79	29	11	1	9	12	107	10		40	3		6			
		九州沖縄	2	8	2		92	1	31		2		9		4						1		16		15	8	10		12	4	22	2		38	5		2			

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。